

花乃井だより

学校
通信

令和4年10月26日(水)

第105号

大阪市立花乃井中学校

大阪市英語力調査(GTEC)!!



昨日は3年生で大阪市英語力調査を実施しました。同調査では、昨年度からそれまで実施していた英検IBAにかわって、GTEC(Global Test of English Communication)が採用されています。このGTECは民間業者が実施している検定で、英語の4技能(読む・聞く・書く・話す)が測定できるようになっています。ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)との関連もあり、国際標準を満たした検定で、大学生や社会人を対象としたものも実施されており、“使える英語力”が測定できるとして大阪市が採用しました。結果が楽しみです。

芸術鑑賞

22日は土曜授業で芸術鑑賞を行いました。本校では【日本の伝統芸能】【音楽コンサート】【演劇鑑賞】の3つを3年間でまわしており、中学校3年間でひとり通りの芸術種目が鑑賞できるように企画しています。昨年は【日本の伝統芸能】ということで“狂言”を鑑賞しました。



今年は【演劇鑑賞】の年。パントマイム劇団「to R mansion」の皆さんを招聘しました。歌あり、ダンスあり、マジックありの見事な舞台を見せていただきました。海外でも活躍されている「to R mansion」のさんはとても素晴らしい劇団です。この日のプログラムはオープニングから始まり、空想旅行、イルカショー、3人のおじさん伝説、パントマイム体験ワークショップ、シネマパラダイス、そしてエンディングと続きました。

どの演目も驚きと歓声が沸き上がり、感動の連続となりました。パントマイムはセリフではなく身体や表情で表現するもので、実際にはそこにはないものを、あたかもあるように演じるパフォーマンスです。特に中盤の“3人のおじさん伝説”と最後の“シネマパラダイス”は圧巻でした。前者はそれぞれ特技を持つ3人のおじさんが苦難を乗り越えて変わっていく冒険を描いており、最後まで走り続ける大切さを訴えるメッセージにあふれたものでした。後者は映画「ロッキー」を題材にし、1本の紐をボクシングリングのロープに見立て、それを四方八方へ移動させることによって主人公は立ち位置を変えないままにまるでリングの中を自由自在に動き回っているように見せた技(もちろん相手は見えない)は、まさにパントマイムの真骨頂でした。途中で教員が参加(ロシアンルーレットの寸劇)してのパフォーマンスがあり、代表の教員が劇団の一員として劇を上手に演じました。また、代表生徒や会場全員でのパントマイムの体験もありました。とても盛り上がったひと時となりました。

1年学年役員会 ⇒ 休み時間は準備、休憩、3分前着席の3点セットでパーカクト!!

2年学年役員会 ⇒ 校外へ出ても恥ずかしくないように日頃からあいさつをしよう。

3年学年役員会 ⇒ 試験当日に向けて、時間の管理を徹底しよう。

風紀委員会 ⇒ 1年 名札忘れをなくそう。

2年 名札の付け忘れないようにしよう。

3年 名札の付け忘れをなくそう。

体育委員会 ⇒ 1年 集合や準備を早くしよう。

2年 授業の行動を早くしよう。

3年 切り替えをして、声を掛け合おう。

保健委員会 ⇒ 季節の変わり目なので、体調管理をしっかりしよう!!

美化委員会 ⇒ テスト反省も掃除もしっかりしよう!!

図書委員会 ⇒ 全体目標 図書室も利用しながら、読書に取り組み、「読書のあゆみ」を習慣づけよう

学年目標 1年 図書室を利用しながら読書に積極的に取り組もう。

2年 「読書のあゆみ」を書く習慣をつけよう!!

3年 「読書のあゆみ」をしっかり書こう。

生徒会執行部 ⇒ テスト終わりで気がゆるまないよう心がけよう!!



とても感動的な舞台発表 !!

文化祭での社会科部と吹奏楽部の舞台発表は、今年も感動的なものでした。まず社会科部。「それって…」と題して行われた裁判劇は、ある殺人事件をもとにして裁判の様子を演じる中で、その内容ももちろん、“裁判員制度”の課題についても考えさせるものでした。

刑事事件の場合、裁判は冒頭手続きから始まり、証

拠調べ(冒頭陳述・証人尋問等)⇒論告(検察側)⇒弁論(弁護側)と進み結審(判決)します。裁判員は、その始めから終わりまで関わることになります。この制度が始まって13年が過ぎました。誰もが裁判員になる可能性がある中で、辞退率の上昇や出席率の低下、安全確保、経験の共有に守秘義務が壁になっていること等々、制度的な課題を様々に抱えています。

裁判のシーンでは検察官役も弁護人役も難しいセリフをよくこなしていましたね。事件の緊迫感が伝わってきました。証人役もユーモアを入れたりして面白かったです。2回目の発表では、最後に生徒の皆さんに意見を聞く場面も設定し、舞台と客席が一体となって考えていく場となりました。社会科部の皆さんありがとうございました。

舞台発表のラストを飾ったのは今年も吹奏楽部。これもとても素晴らしいかったです。

「Don't think Feel the music」と題しての演奏はアニメソングやディズニーメロディーのメドレー等、皆がよく知っている曲をチョイスしてくれました。途中途中に楽器の紹介やパートソロが入り、立ち上がって演奏する姿はとても板についたものでかっこよかったです。



アンコールに応えての演奏は、これもまた皆がよく知っている「YOUNG MAN」でした。“Y・M・C・A”の振り付けを皆で行い、場内が一体となっての演奏となりました。吹奏楽部の皆さんありがとうございました。

趣向を凝らした展示発表

展示発表も見ごたえがありました。所々で立ち止まって見入ってしまう場面があり、時間制限がある中ではすべてを詳しく見て回ることが難しかったです。私が特に印象に残ったのは全学年での「SDGsに関わる技術」でした。夏休みの課題の調べ学習として各自が冊子のようにまとめたもの。一つ一つがよく調べられており、皆の努力が伝わってきました。夏休みの課題といえば家庭科の「1日分の献立作り」や「理想の朝ごはんレポート」もカラフルな写真入りでなかなか美味しそうに工夫されていました。

各教科・各学年からの展示も力作がそろっていました。特にプレゼンテーション能力が秀でた作品が多くかったです。3年の「修学旅行紹介(PC仕様)」はパワーポイントの一部ともなり、かなりレベルの高いものでした。2年の「職業リーフレット(手作り)」も1人が1つずつ業種を決めてアピール。手書きあり写真ありで、なるべくダブらないように工夫していました。その他、1年の「1学期まとめ新聞(手書き中心)」、2年国語科の「マトリックス」、3年英語科の「The Press Conference ~記者会見~」、1年美術科の「漢字の感じ(レタリング・絵画)」等々、見たものに訴えかけるに十分な工夫がなされており、上手なプレゼンができそうな作品ばかりでした。

そして文化部の展示。家庭科部の手縫いの人形、理科部の天体模型、美術部の個人製作「自然と生命」、社会科部の「フィールドワーク報告」。どれも細かいところまで気を使って仕上げていました。日ごろの部活動の成果が出せてよかったです。

また、今回の展示の中には、3年の修学旅行時に作成した「砥部焼の絵付け」や2年のクラコンへの思いを掲示した「輝きの花」等もありました。展示作品の一つ一つが輝いていて、苦手な分野かもしれないけれど、とにかく一生懸命に作品として仕上げてきた思いが伝わってきました。展示に携わったすべての皆さんに感謝です。



《美術部の黒板アート》



《漢字の感じをあらわそう》



《幸せのマイルーム》



《理想の朝ごはんレポート》



《ちょきちょきぬいぬい in WONDERLAND with ゆかいな仲間たち》



《太陽系の天体》



《スウェーデン刺繡》



《SDGs に関わる技術》



《幼児のおもちゃ設計図》



《習字「天地」》



《私をつくるもの》



《咲き誇れ 輝きの花》



《職業リーフレット》



《平和短歌》